

## 令和5年1月10日 市長定例記者会見 会見録

### ◆司会

それでは、ただいまから市長定例記者会見を始めさせていただきます。市長、よろしくお願いいたします。

### ◆市長

新年初めての記者会見です。明けましておめでとうございます。去年中はお世話になりました。本年もどうぞよろしく願いをいたします。私の任期はもう100日を切ってしまいましたけれども、4次総の幕開けになる予算を編成するという大きな作業が残っておりますので、一日一日を大切に過ごしてまいりたいというふうに思っています。

さて、正月、皆さんも思い思いに過ごされたと思いますけれども、1月3日に私どもは先立って20歳の記念式典をやりました。全国的には昨日が成人の日だったので各地の成人式の模様をテレビ等で放映をされていましたが、私ども1月3日グランシップでやった20歳の記念式典、素晴らしいものに成長してきたなというふうに思いました。そのキーポイントは、新成人の方々が自ら当事者意識を持って主催するという方式に改めた成果が出てきているなというふうに思いました。天候にも恵まれて、グランシップの周りで再会を喜ぶ新成人もたくさんいましたけれども、式典が行われる海、大ホールの中にも2,700人近い、晴れ着姿、スーツ姿の新成人が入ってくれて、昔は前のほうが空いていたり、後ろのほうが立ったり座ったりだったのですけれども、本当に今年は秩序正しく、大ホールがほぼ満席でありましたし、去る人は誰もいませんでした。市長や市議会議長の式辞もちゃんと聞いてもらった、とても手応えを感じました。本当に『カケルハタチ』ということをスローガンにやられましたけれども、朝比奈実行委員長はじめ参加してくれた新成人の皆さん、私は市長として、とても誇りに思います。どうぞ、これからの長い人生、それぞれの能力を生かして羽ばたいていただきたい、活躍していただきたいとエールを送りたいと思います。

それでは今日の話題は、いよいよ迫ってきたSDGs推進TGCしずおか2023の話題に移りたいと思います。ご存じの通り、今年度、まちは劇場の推進という3次総、5大構想の公共政策、四季折々、春フェス、夏フェス、秋フェスとやってきたわけですが、今年度、春は静岡まつりをメインに、夏は安倍川花火大会と清水みなと祭り、そして秋は大道芸ワールドカップも再開をした。季節ごとの風物詩が戻ってきましたけれど、冬フェスのメインイベントが1月14日、これも3年ぶりでありますけれども、「SDGs推進TGC

TOKYO GIRLS COLLECTIONしずおか」であります。

スライドと記者配付の資料の中では少し詳しい資料が載っておりますけれども、パネルも用意してきましたのでご覧をいただきたいと思います。「TOKYO GIRLS COLLECTIONしずおか」の最大の特徴は、唯一SDGs推進をうたっているところにあります。ですので、今回もその名前を冠して、SDGs推進 TGC しずおか 2023として開催をいたします。今回のテーマは“輪”であります。このドーナツ型のSDGsのバッジも輪の形になっておりますが、目標17はパートナーシップで目標を実現しようということで、公民連携はもちろんし、SDGsの理念に共鳴した、それぞれのステークホルダーが輪になって連携してパートナーシップで推進をしていこうと、ここを強調するテーマを設定いたしました。ただし、11月の市議会で問題提起されたのは、やっぱりSDGsに対する理解度はかなり開きがあるよ、ということでした。その本質を理解した上で、それをビジネスチャンスにしたり、実質的な効果にしたりということも始まっておりますけれども、なんとなくバッジを着けるだけのファッションで終わっているとか、うわべだけで終わっているとか、そういうような指摘について、「市長、どう思うか」という問題提起を11月の議会でいただきましたけれども、私がそのとき答えたのは、本質まで理解して、そして、地球に貢献するムーブメントになるということは理想ではありますが、とっかかりはそれぞれ一人ひとりの自分ごととしてのSDGsの捉え方でいいのではないかと、いうふうに思います。今回のTGC しずおかも、そんな、とっかかりの一つできっかけを提供して、そこで意識が変わっていき、自発的にできる範囲で自分なりのアクションにつなげてもらえればうれしいなというふうに思っています。当日は、TGC しずおかのステージ、あるいはSDGs COLLECTIONで、この輪というテーマを体感していただける企画を準備しております。TGC しずおか、目下目下でありますけれども、静岡市ステージを今年も展開をします。加えて静岡県やプラチナパートナーを務めてくださる株式会社シャンソン化粧品もステージも用意をされていて、それぞれ趣向を凝らした華やかなものになっていくというふうに期待をしています。

このTGCが行われるのは、今、工事中で南館が使えないものですから、前回同様ツインメッセの北館であり、そしてSDGs COLLECTIONのほうは西館とプロムナード、ここを会場に使っていきたいなというふうに思っています。このSDGs COLLECTIONのほうは、それこそ子どもたちから大人の方まで、ご家族連れでも誰でもSDGsを知って楽しく学べる企画がめじろ押しであります。会場には事業者、企業の皆さん、行政はもちろんですけれども、工夫を凝らした、体験しながらSDGsを学べるブースである

とか、SDGsを意識したエシカルな商品が勢ぞろいするマルシェも展開しております。スローガンがそれぞれ、ブースのほうは、テーマはアクションと。これをきっかけにして何か自分が身近な行動をとってほしいということでもありますし、マルシェのほうはアップサイクル、新たな付加価値を付けて大変身した商品を販売するというコンセプトで開催をいたします。また、高校生が運営をする体験ブースや商品販売、ワークショップのコーナーも設け、屋外のプロムナードの会場では特設ステージを設置し、SDGsの各ゴールを意識した個性豊かなオリジナルショーも展開をされます。また、ここでは午後3時から6時半まで、北館で行われているTGC しずおかのパブリックビューイングも行う予定であります。もう会場の中、北館の中に入れるチケットは、すでに完売となっておりますので、チケットを残念ながら持っていないという方は、このSDGs COLLECTIONのパブリックビューイングのほうで、ぜひ、ご覧いただきたい、ライブを見ていただきたいということをお願いしたいと思います。

一方、今回はサテライト会場もあつらえました。それは、非常に通行客が多いJR静岡駅北口地下の通称しずチカ、このしずチカにサテライト会場を設けました。このサテライト会場では、やはりパブリックビューイングをして、生でTGCの模様を中継するとともに、シャンソン化粧品さんのご協力、公民連携で、スポーツを通じてSDGsを考え、行動してもらうためのチャリティーイベントも開催いたします。ぜひ、たまたま、そこを通ったという方も少し足を止めていただいて、静岡市がこんなSDGs推進のTOKYO GIRLS COLLECTIONを連続開催しているということを知っていただければうれしいなというふうに思います。

最後に、これ言わずもがなでありますけども、第8波、新型コロナウイルス感染症の新規陽性者が増えてきております。3年ぶりに開催をいたしますが、安心してお楽しみいただけますよう、主催者は万全の準備をしておりますので、来場される皆さんも感染症対策をしっかりとした上でお越しをいただきますよう、お願いをいたします。私からは以上です。

#### ◆司会

それでは、ただいまの発表案件につきまして皆さまからのご質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、幹事社質問のほうに移りたいと思います。共同通信さん、よろしくお願いたします。

◆共同通信

共同通信です。幹事社から2点お伺いします。1点目ですが、大河ドラマの『どうする家康』の放送が8日から始まりました。8日には市内で出陣式も開かれましたが、大河の放送を市の活性化にどのように活用していきたいか、意気込みなどをお伺いできますでしょうか。

◆市長

出陣式あるいはパブリックビューイングにいらっしゃいましたか。

◆共同通信

私、行けてないです。

◆市長

残念、大変な熱気でした。とても、出陣式が倍率20倍以上、パブリックビューイングも7倍以上で抽選をさせていただいて会場に、ご案内したのですが、非常に素晴らしい幕開けになったなというふうに思いました。松本潤さんとお会いしてお話をすると、やっぱり静岡に何度も来ていただく中で、役作りをしてくれているということ、ひしひしと感じました。トークショーなんかを傍らで聞いていても、ひょっとしたらこれ、一年間の大河ドラマで日本人が持っている従来の徳川家康のイメージが変わるかなと。徳川家康も青年時代があり、悩み悩みながら弱き小さき少年が成長していったんだな、そんなことが、このドラマを通じて日本中に伝われば、なんとなくタヌキおやじのイメージが先行していた徳川家康像が変わってくるのではないかな、という期待さえ持ちました。そして、静岡市は、入念に私の任期でいえば1期の頃から準備を重ねてきたことでもありますので、とにかく地域の活性化に資するように最大限に活用していきたいというふうに思っています。

お考えや意気込みということでもありますので、二つの方向性で地域活性化にいかしていきたいと考えております。一つ目は、交流人口による経済効果を創出していくということでもあります。27日オープンの大河ドラマ館、そして、今週の土曜日（注：金曜日）にオープンの歴史博物館、これを誘客の核にして、家康公ゆかりの地や三保松原、日本平など静岡市の誇る観光地を周遊してもらう仕掛けを作って、市外から訪れていただく皆さんの滞在時間を延ばしていくことによって、コロナ禍で落ち込んでいた観光関連の皆さんの売り上げの増進、そして、地域経済の活性化につなげていきたいと考えております。

二つ目は、市民の皆さんはもちろんなのですが、若い方々、子どもたちの「ふるさと静岡市」を愛する心を育む教育的な効果が高まってほしいという

ふうに思っています。大河ドラマの放送や博物館の訪問などを通じて、静岡市は、松本潤さんもおっしゃっていましたが、やっぱりこの素晴らしい自然環境のもと、静岡市が自分の居なんだということで、決めてくれたということでもありますので、家康公が選んで愛したまちに、私たちが今、住んでいるんだ、それは、先人たちの偉業や歴史の蓄積があったからなんだという、子どもたちがこの静岡市に生まれ暮らすということに誇りを持ってもらえるような、そんな教育的な効果ということにも期待したいと思います。

歴史博物館を城下町静岡の中心に整備したいというのは、昭和の頃からの30年来の構想でありました。昭和、平成、令和と時代を継いできて、私自身が市長としてアンカーの役割を務めさせていただくことになったというのを、大変うれしく、また光栄に思っております。ぜひ、これを思い思い、皆さんに活用していただけて楽しんでいただければなというふうに思います。

#### ◆共同通信

2点目ですけど、4月の静岡市長選まで残り3カ月となりました。先ほど市長自身が任期が100日を切ったというお話もありましたが、今、出馬を表明されている方を応援する考えがあるかどうかなど、現状のご対応についてお考えをお聞かせください。

#### ◆市長

これは年末も申し上げた通りなのですが、まだ、それぞれの候補者の方々がどんな政策を主張されるのかという、マニフェスト政策が出そろっていませんので、それを見定めたいなと思っています。私としては、4次総の8年間のプログラムが来年度から始まるので、その4次総の路線というものを尊重してくださることを期待はしています。

#### ◆司会

それでは、ただいまの幹事社質問に関連をしたご質問を、まずはお受けしたいと思います。いかがでしょうか。先に朝日新聞さん、お願いいたします。

#### ◆朝日新聞

朝日新聞です。本年もよろしくお願いいたします。

#### ◆市長

こちらこそ、よろしくお願いいたします。

◆朝日新聞

『どうする家康』なのですが、初回、昨日(注：一昨日)放映があったということで、ビデオリサーチの視聴率によりますと、関東地区で15.4%ということで2000年以降では過去最低の視聴率でスタートした。

◆市長

そうなんですか。

◆朝日新聞

らしいです。今、報道がありまして、ご所見が、もし、ありましたらお聞かせ願いたいんですけども。

◆市長

大河ドラマ始まって以来の試みとして、初回放映日に東海地区のリレーをしたわけですね。すごくNHKさんの意気込みも感じました。そして、岡崎市、浜松市、静岡市との絆も強まってきております。そもそも、2013年に岡崎市長、当時の浜松市長と私と、それぞれの商工会議所の会頭と、1983年以来、30年間(注：40年間)、1983年ですから昭和58年かな、滝田栄さんが徳川家康公に扮して徳川家康公を主役にしたドラマが放映されたわけですが、また作ってくださいと、2015年は400年記念事業もありますと、そこから始まってこの3市の繋がりができてきたわけですね。そういう中で今回、松本潤さんという新しい家康を期待する配役になりましたので、私は期待をしております。視聴率がそういうことだったということは、浜松市に寄り添えば、これから、うなぎのぼりで視聴率が上がってくることを期待しております。

◆朝日新聞

ありがとうございました。

◆司会

その他、いかがでしょうか。朝日テレビさん、お願いいたします。

◆静岡朝日テレビ

静岡朝日テレビです、よろしくお願いします。

◆市長

お願いします。

◆静岡朝日テレビ

重なる部分あるかと思うのですが、大河ドラマについて、今、関連した商品が結構人気を集めていたりとか、市内への観光客の増加なども見込まれまして、経済効果も少なくないと思われます。田辺市長が最も期待したい静岡市への影響は、どういったことでしょうか。

◆市長

これは松本潤さんもトークショーでアピールをしてくれたし、私たちが仕掛けているんですけれども、家康公が神社やお城を造るに当たって全国から腕利きの職人さんを集めて、その方々が住み着いてくれた、それがものづくりのDNAとして繋がって行って、そして、明治の時代からも家具産業や木工産業、ひな人形や仏壇という製造業、ものづくり、よくいえばクラフトマンシップが息づいたまちが静岡市なんだよ、という流れの中で、3年目になるんですけれど、静岡市プラモデル化計画、これは、地場産業の産業振興とともにシティプロモーションとして、これを公共施策として、経済局中心に展開しています。昨日、大河ドラマをご覧になったと思いますけれども、番組の最後の紀行コーナーで姫岡宮司から模型の世界首都、ホビーのまち静岡アピールしてくれて、市役所の前のプラモニュメントの郵便ポストも映してくれましたよね。すごい発信効果があるかと思えます。そういう、静岡市というのはクラフトマンシップが息づいたものづくりのまちだということもアピールしたいし、インスタ映えをするプラモニュメント、静岡市プラモデル化計画というシティプロモーションにも貢献することによって、観光産業にも波及していけばいいなというふうに期待しています。

◆静岡朝日テレビ

ありがとうございます。

◆司会

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、幹事社質問関連のご質問は以上とさせていただきます。

その他のご質問があれば、お受けをしたいと思えます。読売新聞さん、お願いいたします。

◆読売新聞

読売新聞社です。今年もよろしくお願いたします。

◆市長

こちらこそ。

◆読売新聞

サッカースタジアムについて、お伺いいたします。以前の会見で市長は、4次総にサッカースタジアムの整備を盛り込むかどうかについては、市民の意見を見てから判断したいとおっしゃいました。パブコメは1月5日で終了したと思いますが、今、現在、もう、どうするかというふうなことはお決めになっていますでしょうか。あるいは、お気持ち等があれば、お聞かせください。

◆市長

パブコメの結果を、連休もあったものだから、まだ、私、報告をもらっていません。それを確認して、もう一度申し上げたいなと思っています。

◆読売新聞

いずれにしても、実施計画には、例えば、それで盛り込む盛り込まないを判断されるということですか。

◆市長

そういうことです。

◆読売新聞

分かりました。

◆司会

その他、いかがでしょうか。朝日テレビさん、お願いいたします。

◆静岡朝日テレビ

静岡朝日テレビです。よろしく申し上げます。リニア新幹線についてなんですけれども、先日、岸田総理大臣が、リニア新幹線開業後に静岡県内の駅に停車する東海道新幹線の本数がどの程度増加するか、今年の夏までに取りまとめる考えを示しました。これに対する田辺市長の受け止めを、お願いいたします。

◆市長

これは歓迎したいなと思っています。やはり実質的に、私たちにとって新幹線



ひかりの停車が増えるということは大変メリットがあります。ですので、岸田総理がそういう指示を出してくれたということは、私たちにとっては大変ありがたいことだというふうに思っています。

◆静岡朝日テレビ

ありがとうございます。市民にとってはやっぱり本数が増えるところで、メリットがあると思うのですが、市民に対しての影響というのは、どのように感じていますでしょうか。

◆市長

これが、リニア問題に関心を持ってもらうきっかけになればいいな、というふうに思います。

◆静岡朝日テレビ

ありがとうございます。

◆司会

その他、いかがでしょうか。第一テレビさん、お願いいたします。

◆静岡第一テレビ

静岡第一テレビです。よろしくお願いいたします。今のリニアの関連なのですが、けれども、市長は今、大変歓迎するっていうお話ありましたが、一方で、知事は年末の段階から国の政策方針と一致してない、矛盾が生じているんじゃないかとか、いわゆる、ある意味、否定的な見解を示しているのですが、県のそういう姿勢というのは、市長はどういうふうに受け止めていらっしゃるんですか。

◆市長

そのロジックが、私、分かりませんが、もう少し解説してください。

◆静岡第一テレビ

私も理解しているわけじゃないんで解説しようがないんですけども、知事という言葉借りると、要するに岸田総理は移住とかを促進してデジタル田園都市構想というのを提唱している一方で、このリニアを通すというのは政策として矛盾しているんじゃないかというのを、年末の会見ではお話しされていて、明日、何、話されるか分かりませんが、現状、いろんな報道とかを通して見ると、やや否定的な見解を示されているんです。そういう知事の言動について、

市長はどう受け止めてらっしゃいますか。

◆市長

知事もリニア推進を条件に同盟会に加入されたので、やはり、リニア推進という立場から、ひかりの停車が増えるということは、実質的な市民にとってのメリットになるというふうに思いますし、このリニア問題、以前からも私どもは静岡商工会議所の皆さんと一緒に停車本数を増やしてほしいという要望に、名古屋に行ったこともありますので、市民にとっては関心の深いことだというふうに思いますので、これによってリニア問題を考えるきっかけになってくれれば、私は良いことだと思いますので、知事の考え、どういうことなのかまた聞いてみてください。

◆静岡第一テレビ

もう一つ、知事が言うには、要するに、まだ時期尚早じゃないかと。いろんな問題がある中で、そんな静岡県のメリットを検証するっていうのは早いんじゃないかっていう意味も、どうやら込められているそうなんですけれども。

◆市長

時期尚早じゃないですよ。もう本当に、もう、もう、早く、早くやらなければいけない。やっぱり、これは静岡県のみならず国策でありますし、神奈川県や愛知県や岐阜県からも期待をされることであります。時期尚早だという認識は、私は持っていません。ですので、やっぱり専門家の会議と利水関係者、専門家の会議は勉強する人ですけれども、私どもはまとめなければいけないので、利水関係者の中の調整をして、そして、一つの合意点を見いだすということをしていくには、もう本当に喫緊の課題だろうというふうに私は思っています。そろそろ議論は出尽くしただろうというふうに思っています。

◆静岡第一テレビ

ちょっと関連してもう1点だけ、すいません。今、議論は出尽くしたと。市長としては早く合意形成をすべきだというお考えだと思いますけれども、知事は必ずしもそうじゃないのかなというふうな印象を私は受けています。で、市長は残り任期 100 日切ったっていうお話でしたけれども、市長の今後の思いとして今年リニア問題がどういうふうな解決に向けて進展していくことを期待されていますか。

◆市長

やはり今、県知事がキーパーソンだというふうに思います。私、島田市長や牧之原市長ともよくこの話をするのですけれども、彼らは水の問題には一番意識が高いわけでありましてけれども、それはそれとして、やはり環境の問題と経済の問題をどう両立していくか、どう合意を形成していくかというのが、政治の一番大事な役割です。その期待が、流域の首長にもあります。ですので、知事も合意形成の作業をしてほしい、知事の任期中に、何とかそれをしていただきたいということを、私は期待しています。

◆静岡第一テレビ

ありがとうございます。

◆司会

SBSさん、お願いいたします。

◆SBS

SBSです。今年もよろしく申し上げます。

◆市長

こちらこそ。

◆SBS

今の質問に関連してですけれども、知事は総理だけでなく、大臣の発言にも反発する形で、これだけオンラインが進んでいて、また物価高騰、そして、消費電力が、かなりかかるリニアが、そもそもいらんんじゃないかというリニア不要論と思われる発言もされています。市長に改めて聞くことではないかもしれませんが、リニア不要論についての所見と、そもそも必要だと市長が考えているか、どうかの改めてのご発言を聞かせてください。

◆市長

私は必要だと考えています。環境と経済の問題を両立した上で、静岡市への地域振興のメリットと同時に、国策上のリニアの、岸田総理がおっしゃるように、デジタル田園都市構想の一つの手段としてのリニアというものが必要だろうというふうに思っています。リモートは便利になったけれど、やはり直接対面をして、いろんな仕事をするという体温を高め合うような、そういう交渉というのは必要ですね、ビジネスにおいても。そういう意味では必要だと思っています。

ですので、反対論者、例えば共産党の皆さんはもうリニア着工自身が反対ですね。そういう立場であるならば理屈としては分かるわけですがけれども、知事はリニアは推進と、反対ではない、大推進だとおっしゃっているわけですから、それに向けて知事の立場として取りまとめに努力をします。批判しているだけでは、もういけない段階になってるんじゃないかなと、そんなふうに私は理解しています。

◆司会

その他、いかがでしょうか。NHKさん、お願いいたします。

◆NHK

NHKです。よろしくお願いします。今のリニアの話の続きで環境への影響なんですけれども、静岡市が設置している増澤先生トップの委員会の中では、もう委員の先生方からJRに対して再三、動植物どうするのかというデータや考え方が示されないの、委員の先生方、いら立っているような発言が繰り返されてる状態がずっと続いているわけですがけれども、この辺り、まさに自然環境へ影響出る静岡市、当事者として市長は委員の先生方のご発言どのように聞いてらっしゃるのか、そして、その環境への配慮についてJRに何か求めることはないのか、あくまで推進という立場なのか、お考えをお聞かせいただけますか。

◆市長

大枠としては推進と申し上げましたけれども、委員の皆さんにも、それぞれの専門性の中で意見は、力点が違うわけです。私たち静岡市はご存じの増澤先生の考え方ということを尊重しながら、増澤先生に代弁をしていただいて、エコパークも一緒に苦楽をともにした増澤先生ですので、JR東海に申し入れていただき、また増澤先生もそれとの折り合いを付けようというふうに努力をしてくれているというふうに理解しています。

◆NHK

折り合いというのは、今、増澤先生に限らず委員の先生方から出てる、全然、JRがデータとか考え方を示さないという膠着状態になってるような議論を多少スキップしてもいいんじゃないか、というお考えなんですか。

◆市長

専門家会議は専門家会議で尊重しなければいけないと思うんです。コロナのときもそうだったですね。やっぱり尾身会長をはじめとした医療職、専門職の

方々は、やはり命ということを大事にして慎重な議論っていうのがあったでしょ。一方で、われわれ行政に携わる立場は、命も大事だけど暮らしも大事だよねと、経済も回していかなければいけないよねと、そういうところの緊張関係の中で命と暮らしの両立をしてきたわけです。ですので、この理念の議論も同じだろうと思います。命の水、これも大事だけれども、やはり日本全体の暮らし、経済、遅れてしまった、この20年間の日本全体の経済の活性化というものをしていくために、リニアは福音になるのであるので、それとの両立もしていかなきゃいけない、そういう大局的な発想で、やはり、市長や県知事は、この問題を合意形成していく必要があるのではないかというふうに、私は申し上げたいと思います。

◆NHK

なお、残土の問題について、燕沢に60mの盛り土、知事も副知事だった難波さんも否定的な考え示されてますけど、この辺りもJRの今の考え方で、市長としてはいいんじゃないかとお考えなんでしょうか。

◆市長

それは、各論レベルはそれぞれの専門家に任せて両立を図っていきたい。私は、大きな方向性を示すことが大事、私の役割だと思っていますので。

◆NHK

ごめんなさい、もう一つ。読売さんのサッカースタジアムの質問に続いてアリーナについて伺いたいんですけども、現状で東静岡、千代田学区の方、前、私が質問、報道した騒音の問題、振動の問題、あまり理解は進んでないと思いますけれども、市長はこれは総合計画上も推進するものとして、やっていかれたいお考え、変わりないでしょうか。

◆市長

変わりありません。

◆NHK

地元の方の反発や懸念は解決してきている、和らいでるというふうな、ご認識お持ちでしょうか。

◆市長

やはり、これも大局的に考えるべきだと思うんですね。先ほど冒頭申し上げまし

たけれども、歴史博物館っていうのも30年越しの構想がやっと実現になった。時間かかりすぎたなというきらいはあります。けれども、なぜ時間がかかりすぎたかという、やはり合意形成のためにいろいろ時間を要したわけでありまして、また財政との関係の優先順位というものもあったかというふうに思います。やはり、ある程度のこういう基幹事業といいますか、そういうものは時間がかかる。しかしながら、一つぶれずにアリーナの問題も必要性を論じたのは、合併の時です。もう20年前です。あの時に多目的アリーナというものを、清算事業団から譲り受けた、あの土地で展開をしていこうとって南側にはグランシップを県が造る、北側には市がアリーナを造るところから始まっておりますので、もう20年経っています。確かに財政規律厳しいけれども、民間と市を促す環境がポストコロナという流れの中で呼び込めるんだったら、これ、やっぱりアリーナを4次総の中でやっていかなければいけないことだろうと思います。その各論の中で、近隣の皆さんにも、ご理解いただく努力がもちろん必要です。

#### ◆NHK

前回の市長会見の裏でやってたアリーナ検討委員会では、委員の先生方から当初の方針である民設民営は厳しいので、官民連携っていう形で官も、もう少し入っていくべきだという意見が出てるわけですけども、これについて市長はもう少し行政としても、お金を含めて出していかなきゃいけないという、ご認識ありますでしょうか。

#### ◆市長

その委員の皆さんの意見っていうのは、やはり傾聴するべきだというふうに思っています。ただ、どの程度、行政が投資をしていく、お金を出していくということについては、われわれの財政規律の中で決めるべきであるし、第一義的には民間の投資に期待はしたいと思っています。

#### ◆NHK

分かりました。ありがとうございます。

#### ◆司会

その他、いかがでしょうか。SBSさん、お願いいたします。

#### ◆SBS

たびたびすみません。年末、年の暮れにも消防の広域連携の臨時協議会も開かれ

たと承知してますが、それに関連して静岡市消防局についてお聞きしたいです。去年にいたっては呉服町の殉職火災と、そして大隊長が飲酒運転で逮捕、さらに数年前にスピード違反で失職していたはずだったという不祥事が続きました。消防局からの説明はあったものの市長としての考えは、まだ、お聞きできていない状況なので、今、どのように受け止めているのか、また組織としての課題はどこにあって、どう改善していくべきと考えているのかを教えてください。

#### ◆市長

まず私は、静岡消防の在り方に非常に危機感を持っています。これは、私のみならずこの静岡消防をやろうと決めた5人の首長、同様の考え方であります。10年でもう一度見直そうということが迫っている中で、今の静岡消防でいいのか。当初、静岡消防に期待したものは違う事案が発生しているというのも、ご指摘の通りです。ここは襟を正して、組織の在り方がこれでいいのかということも、きちっと検証するように年末の協議会で首長から事務方に指示をしましたので、その報告を年度内にもらう。そして、もう一度、年度内に協議会を開くという予定になっています。

#### ◆SBS

私の取材の中でも疑問に思った点があって、呉服町火災について原因究明のために、今、事故調査委員会が開かれていて、第2回目以降非公開となっています。2回目以降は、そもそもリリースすらないという状況で、究明の妨げにならないようにという意味は十分理解しているんですけども、議論に影響を与えない範囲での頭撮りだったり、委員長のぶら下がり対応も拒否という状況でした。一部のマスコミは、第2回委員会の際は委員長のコメントは筋として撮らしてもらえようという期待のもと、外で待っていた状況だったんですが、消防局はマスコミを避けるために委員長を別ルートから帰してる対応でした。この対応の改善は一義的に求めたいところなんですが、市長にお聞きしたいのは、この事故調査委員会の対応だけでなく、消防局内の訓練における隊員の重体事故もありました。救急車があおり運転を受けるなどの事案がマスコミ先行で報道されるなど、消防局の体質としてオープンにすることを極端に避ける傾向にあるように見受けられます。これは市長にはどう映ってるでしょうか。

#### ◆市長

私もそういう体質があると、記者の問題意識と同感です。記者は大変いろんな消防局のことについて関心を持っていただいているということ、私は大変

うれしく思っています。ともに体質に問題があるということならば、このところを、一つの節目でありますし、今回の苦い教訓の数々、これをいかす、そういう健全な組織にしていく必要はあろうかというふうに思っています。いい機会じゃないですかね。やっぱり、災いは転じて福としてかなければいけない。私はもう任期が4月までですので、年度内にもう1回協議会を開いて、その辺の報告をしてくれ、ということをお願いしてありますので、今、その作業が始まっているというふうに思います。

◆SBS

ありがとうございます。

◆司会

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは以上で本日の記者会見を終了とさせていただきます。次回は2月1日の水曜日、午前11時からのご予定となります。本日はありがとうございました。